

合併基本計画に係る平成20年度～22年度実施事業に関する意見に対する対応調書

地区名：牟 礼

地区名	項目番号	項目	事業の内容 (地域審議会からの意見等)	担当部局	担当課	前回までの対応	担当課	今後の対応
牟礼地区	2-②	地域住民による防犯対策の充実、交通安全対策の充実	牟礼地区では、子どもたちを犯罪から守るため、また、交通安全の観点から、校区青少年健全育成協議会が中心となり、立哨当番や下校時のパトロールを実施しています。最近では、地域の高齢者の協力も得られるようになり、地域住民による防犯体制は充実しつつあります。 このような中、市は地域の自主的な防犯活動に対する支援として、腕章、パトロールベスト、防犯バンフレットなどの提供を行っていますが、このような地域住民による防犯活動をより活性化させるため、青色回転灯の購入や公用車の使用など防犯パトロール活動に対する支援をより充実させるとともに、防犯灯の増設等にも、なお一層の支援・協力をいただきたい。	教育部 市民政策部	青少年育成センター 地域政策課	防犯活動をより活性化するための公用車については、職員以外の運転は行えないことから、地区独自での使用はできませんが、現在、青少年育成センターが実施している公用車によるパトロールについて、さらに効果的なパトロール方法を検討し、パトロール回数の増加や地区の学校安全ボランティア等との連携強化を図り、防犯活動の支援・協力を行っていきたくと考えています。 地域の防犯活動に対して、青色回転灯を利用した防犯活動の実施を希望する団体に対して、青色回転灯の購入に対する助成を検討していきたくと考えています。 防犯灯の配分については、全体の枠を示し、各地区連合自治会からの要望に対して均等割・面積などにより配分を行っています。配分を越える要望については、緊急度等を勘案する中で、未利用分および緊急対応のための事務局留保分により対応しています。 なお、合併町地区に対する割当については、旧高松市と比較して多めに配分していきたくと考えています。	地域政策課	地域コミュニティ協議会に対して警察等の承認が得られた場合に青色回転灯具の購入助成を実施します。
牟礼地区	2-③	災害時の情報提供手段の整備	災害時、牟礼地区では、支所から防災行政無線や広報車などにより地域住民に情報提供を行っていますが、防災行政無線の一般加入率（平成19年7月1日現在34.3%）が低いこと、また、屋外スピーカーは聞き取りにくいなど、効果的な情報伝達が行われているとは思えません。 今後、地震、高潮、台風など災害が発生した場合、地域住民に避難勧告などの防災情報を効果的に周知するため、屋外スピーカーを増設し、防災行政無線システムの充実を図るとともに、FM高松や高松ケーブルテレビへ一括で放送できる総合装置の導入など、情報提供手段の整備充実を進めいただきたい。	総務部	危機管理課	合併各町が設置している防災行政無線は、それぞれ周波数が異なっており、最終的には新高松市として周波数を統一する必要があるとともに、現行のアナログ式からデジタル式へ変更することを国から求められていることから、現在、旧高松市内でデジタル式同報系防災行政無線の整備を実施しています。合併町のアナログ式同報系防災行政無線についても、機器の老朽度等に応じて、順次、デジタル式同報系防災行政無線システムへの更新を予定しており、屋外（スピーカー）子局についても、適切に整備していきたくと考えています。また、平成19年度事業として、FM高松や高松ケーブルテレビ等へ、緊急時の割込み放送ができるよう、統合装置を導入することにしており、今後とも、合併町を含め、市民に対し緊急情報を迅速に提供できるよう整備していきたくと考えています。	危機管理課	高松市では、平成18・19年度の2か年で災害時等における緊急情報伝達体制を充実し、市民に対する情報提供や避難勧告・指示を迅速かつ確実に行うなど被害を軽減することを目的に、デジタル式同報系の防災行政無線システムを整備したことから、合併町の防災行政無線も総合的に運用することが可能になりました。 なお、合併前の旧町単位で設置している防災行政無線については、それぞれ周波数が異なっており、最終的には高松市として周波数を統一する必要があるとともに、現行のアナログ式からデジタル式へ変更することを国から求められていることから、順次、デジタル式同報系防災行政無線への更新を予定しています。屋外（スピーカー）子局についても、更新時に適切に整備していきたくと考えています。 また、5月26日から運用を開始した高松市防災行政無線システムには、FM高松や高松ケーブルテレビ等への緊急時の割込み放送の機能を整備するなど情報提供手段の充実を図ったところです。
牟礼地区	3-①	安心して子育てができる社会づくり	「働きたくても育児に不安がある」ということをよく耳にします。次世代育成対策として厚生労働省が事業主に働きかけを行っていますが、育児休暇後も育児は延々と続きます。地域だけでなく企業の子育て支援への参加を働きかけていただくのはもとより、働く親を支援できる制度の強化が望まれます。保育所に病児、病後児保育事業がありますが、まだその数が少なく十分とはいえません。地域内の病院や施設等と連携し、利用しやすく、安心して働き出ることができるよう事業の充実を図っていただきたい。 また、ファミリーサポート事業が始まり、期待されているところですが、まかせて会員に看護師や保育士などの専門家グループを作るなどして通院や看病など急な要望にも応えることのできる体制づくりを検討していただきたい。 子育てに関する悩み相談等もいろいろなところで窓口があり心強くなりますが、電話で話す勇気のない親等に対し、携帯電話やパソコンからのメールによる相談窓口や情報交換ができる掲示板を設けていただきたい。	健康福祉部	子ども未来課	病後児保育については、現在、小児科医院（3か所）と直営施設（1か所）で実施しており、利用希望者も多いことから、高松市子ども未来計画でも、さらに1か所増やすことを目標としており、引き続き増設に努めます。 ファミリー・サポート・センター事業は、身近な地域の人たちが子育てを相互に支援するもので、特に資格は必要としていませんが、まかせて会員は必ず子どもの扱いや安全管理等の講習を受講しなければならないこととしています。また、病気が治まりを伴う預かりの場合に、ファミリー・サポート・センターと同様のシステムで対応する緊急サポートネットワークも10月からスタートしており、このサービスの提供会員は看護師や助産師などの資格を持つ人となっています。 子育て相談窓口を市民相談コーナーに設け、窓口や電話による相談に応じています。相談内容を十分把握するためには、面談か電話による相談が望ましいと考えていますが、現在、市民が容易に子育て情報を得られるよう、子育て関連情報サイトの立ち上げ準備を進めており、その中での開設が可能か検討したいと考えています。	子ども未来課	子育ての相談などのメールによる相談窓口や意見交換できる掲示板の設置ですが、子育ての悩み相談などには背景が複雑な場合が多く、相談の内容を十分把握して、回答することが重要でございますので、面談か電話（匿名でも可）による相談が望ましいと考えています。このことから、本年4月に開設した、たかまつ子育て情報サイト「らっこネット」で掲示板を設置して、的確に回答することは困難と考えています。
牟礼地区	3-②	子育て支援情報の発信	香川県子育て支援課や市の子ども未来課では、NPO等との協働事業を含めいろいろな支援事業が繰り広げられていますが、その情報が十分にいきわたっているとは言えず、活用できていない状態です。また、地域で安心して子育てができる環境づくりをより進めるためにも、健診や相談事業など母子保健事業の機会等を利用し、行政の情報発信はもとより、子育て関連のNPOに事業に参加してもらい活動の紹介を行なうなど地域資源についても広く周知する機会を設け、関心のある人だけが情報を得ることができるのではなく、必要な人に必要な情報が届くよう、情報を整理し、その人にあった情報の発信ができるようにしていただきたい。	健康福祉部	子ども未来課	現在、市民が行政だけでなくNPO等の子育て活動状況を容易に得られるように、子育て情報をまとめた「子育てハンドブック」の作成とともに、「子育て総合情報サイト」の立ち上げ準備を進めています。	子ども未来課	子育てが家庭が必要とする各種子育て関連情報を集約し、効果的な情報を積極的に発信することにより、子育て支援の促進を図るため、子育てハンドブック「たかまつ らっこ」を作成・配布するとともに、本年4月、たかまつ子育て情報サイト「らっこ ネット」を開設しました。
牟礼地区	5-①	地場産業の振興、活性化	牟礼地区の地場産業である石材業や窯業界などの後継者不足を解消するために、団塊世代の人々を含めた体験型ボランティアの育成や新たな事業展開を生み出すための異業種交流の場を提供するなど、支援策を充実していただきたい。 また、農業、水産業、商工業が低迷している中、それぞれの分野への新技術・新事業創出に対する補助制度の拡充や販路開拓、人材育成、異分野進出、高松（自社）ブランドの育成への支援を推進するとともに、今後とも、国・県および関係機関との連携をさらに密にしながら、実効性のある施策の展開を図っていただきたい。	産業経済部	商工労政課	地域創業助成金制度を活用するなどし、地域の民間事業の創業と雇用の拡大に努めるほか、商工会や石材組合等の経済団体等への助成を通じ、地域の活性化に努めたいと考えています。	商工労政課	地域の資源を生かした、特色ある産業の振興を含めた高松ブランドの構築に取り組むため、事前調査の事業委託を実施したいと考えています。
牟礼地区	7-① (継続)	屋島線（高橋）の整備	屋島線（高橋）の整備につきましては、平成19年度に交通量調査費の予算化に対応していただきましたが、屋島線（高橋）の整備は、牟礼町時代から懸案事項であり、高松東部の幹線道路として整備することにより、地域間交流が促進できるものです。 したがって、引き続き、屋島線（高橋）の整備について、前向きな検討を進めていただきたい。	都市整備部	道路課	高橋の改修につきましては、今年度交通量調査を行うこととしていますが、今後、県道木田郡北部ルート（仮称）事業計画等との整合性にも留意する中で、国、県の補助制度や合併特例債の活用など、整備手法も含め、検討していきたくと考えています。	道路課	高橋の改修につきましては、新総合計画基本構想の実施計画である「まちづくり戦略計画」の重点取組事業として位置づけられており、19年度に実施した交通量調査の結果を基に、今後整備計画や整備手法について検討していきたくと考えています。